

東海北陸地域で初の取り組み！

鈴鹿市で JICA 海外協力隊候補生が
多文化共生への取り組みに参加する
「グローバルプログラム」開始！！

国際協力機構（JICA）では、JICA 海外協力隊合格者の中から希望者を対象に、開発途上国への派遣前に、日本国内の地方創生や多文化共生等の取り組み現場での OJT を行っています。この取り組みを「グローバルプログラム」と呼び、2022年1月から開始し、全国19地域で展開していますⁱⁱ。

こうした課題解決に向けた日本国内での実践経験は、隊員として途上国で活動する上で意義のある実習になると共に、帰国後のボランティア経験の社会還元にも役立つと期待されています。

このたび、東海北陸地域では初となるグローバルプログラムが、外国人人口比率の高い三重県鈴鹿市において開始されました。鈴鹿市での実習を希望した候補生1名が、本年1月12日から3月22日までの約70日間、鈴鹿国際交流協会において、多文化共生活動に取り組みます。

来たる1月26日、候補生が鈴鹿市役所に末松市長を表敬訪問し、今後の活動への抱負を語ります。

派遣前に地域に入り、地域の方々から課題への取り組みを学ぶ JICA 海外協力隊候補生の姿を、貴メディアを通じて広く地域の皆様に伝えていただきたく、是非取材をご検討ください。

- 表敬訪問日時・場所；
2024年1月26日（金）9:30～10:00 鈴鹿市役所市長室にて
- 候補生（氏名／派遣国／派遣職種／出身地／出発予定日）；
見正麻友（みしょうまゆ）／ブラジル／環境教育／兵庫県／2024年8月

【本件に関する問い合わせ先】

●JICA 中部 担当 小川／石沢
TEL：052-533-0120
E-mail: Ogawa.Toshio@jica.go.jp
Ishizawa.Yuko@jica.go.jp

グローバルプログラムの
詳細はこちら↓



ⁱ 愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、福井県、石川県、富山県

ⁱⁱ 2023年12月現在